

令和 7年 業種別労働災害発生状況

(令和7年 5月末現在)

帯広労働基準監督署

区分 業種別		令和 7年 (5月末)			令和 6年 同 期			対 前 年		本年分 業種 割合 (%)
		死 亡	休業 4 日 以上	合 計	死 亡	休業 4 日 以上	合 計	増 減 数	増減率 (%)	
全 産 業 合 計		4	172 (5)	176 (5)	1	173 (8)	174 (8)	2	1.1	100.0
除 く 鉱 業 計		4	172 (5)	176 (5)	1	173 (8)	174 (8)	2	1.1	100.0
製 造 業			33	33		23 (2)	23 (2)	10	43.5	18.8
内 訳	食 料 品		16	16		13	13	3	23.1	9.1
	木 材 木 製 品		3	3		4	4	-1	-25.0	1.7
	紙 ・ パ ル プ									
	窯 業 ・ 土 石									
	金 属 ・ 機 械		5	5		2	2	3	150.0	2.8
	そ の 他		9	9		4 (2)	4 (2)	5	125.0	5.1
鉱 業										
土 石 採 取 業			2	2		2	2			1.1
建 設 業		3	12	15		18	18	-3	-16.7	8.5
内 訳	土 木 工 事 業	2	5	7		8	8	-1	-12.5	4.0
	建 築 工 事 業	1	3	4		3	3	1	33.3	2.3
	木 造 建 築 業		1	1		2	2	-1	-50.0	0.6
	そ の 他		3	3		5	5	-2	-40.0	1.7
道 路 貨 物 運 送 業			26 (2)	26 (2)		18 (1)	18 (1)	8	44.4	14.8
その他の運輸業			4 (1)	4 (1)		1	1	3	300.0	2.3
陸上貨物取扱業			1	1				1		0.6
港 湾 荷 役 業			2	2				2		1.1
林 業		1	4	5		8	8	-3	-37.5	2.8
漁 業			2	2				2		1.1
卸 売 ・ 小 売 業			22	22		22	22			12.5
清 掃 業			4	4		10 (2)	10 (2)	-6	-60.0	2.3
そ の 他 の 事 業			60 (2)	60 (2)	1	71 (3)	72 (3)	-12	-16.7	34.1
内 訳	農 業		2	2		6	6	-4	-66.7	1.1
	畜 産 業		13	13	1	9	10	3	30.0	7.4
	接 客 娯 楽 業		2	2		7	7	-5	-71.4	1.1
	農 業 協 同 組 合		3	3		5	5	-2	-40.0	1.7
	そ の 他		40 (2)	40 (2)		44 (3)	44 (3)	-4	-9.1	22.7

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。

()内は、交通事故内数です。

令和 7 年 死亡災害発生状況

帯広労働基準監督署

発 生 月	時 刻	業 種	事 型 故 の	起 因 物	災 害 の 状 況
2 月	9 時	建 築 工 事 業	2 メ ー ト ル 以 上 か ら の 墜 落・ 転 落	開 口 部	食料品製造工場の新築工事現場の天井裏で、被災者は天井断熱パネルの吊り具の点検作業を行っていたが、ブルーシート養生が施された開口部（地上高さ 5 . 8 m）の真下の床面に倒れている状態で発見されたもの。
2 月	1 3 時	そ の 他 の 建 設 業	2 メ ー ト ル 未 満 か ら の 墜 落・ 転 落	移 動 式 ク レ ー ン	被災者は、会社の土場で移動式クレーン（クレーン付きトラック）に積もった雪を除雪する作業に従事していたが、荷台とアウトリガーの間にはさまった状態で発見されたもの。
2 月	1 0 時	木 材 伐 出 業	激 突 さ れ	立 木 等	私有林において、被災者はチェーンソーで立木の伐倒作業中を行っていたが、伐根直径約 5 0 c m の立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が側にいた被災者に激突したもの。
5 月	8 時	土 木 工 事 業	そ の 他 の 転 倒	積 整 込 地 み・ 用 運 機 搬 械・	建築工事の基礎工事で、被災者はブル・ドーザーによる盛土の敷き均し作業を行っていたが、ブル・ドーザーを停止させ、履帯の上に立ち姿勢を変えたところ、ブル・ドーザーが前進したため、履帯上で転倒し、地面に墜落したもの。

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。